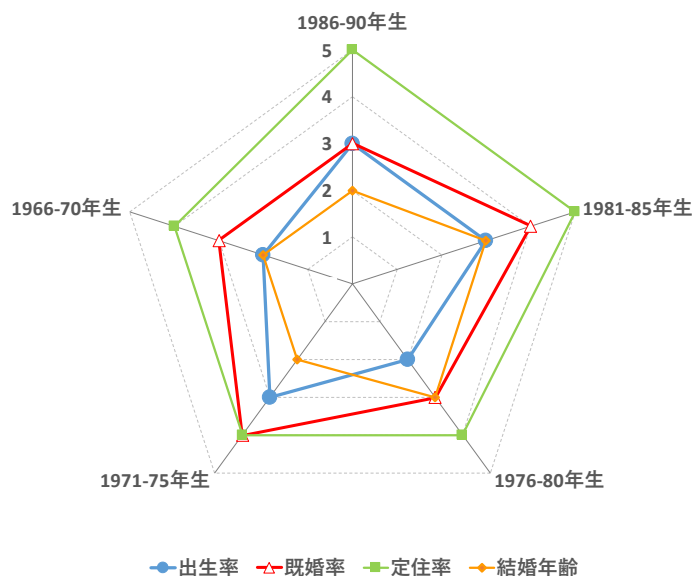


## (2) 長岡市

### ① 出生に関する総合評価

図2-1 コホート別総合評価



注：各コホート別の新潟県30市町村内の順位を5段階で評価している。

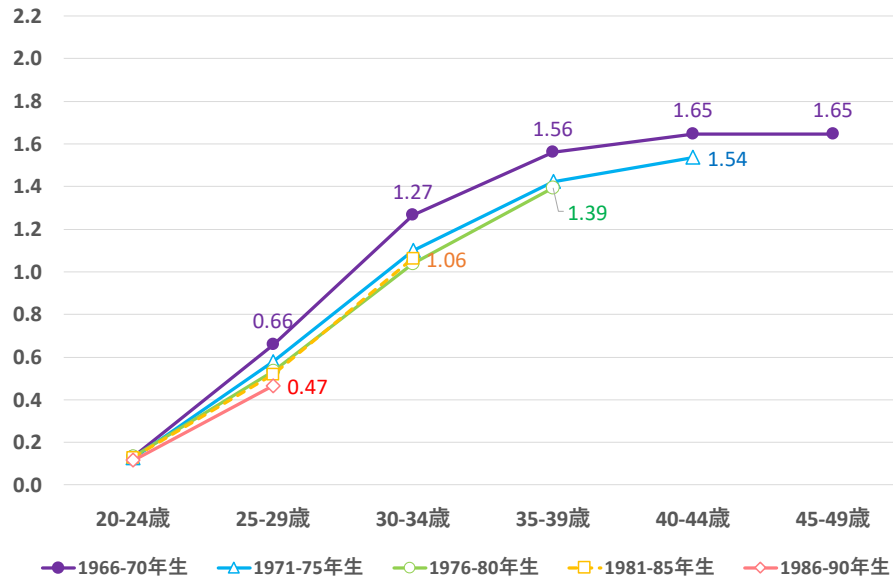
1. 合計出生率は、1966-70年生まれと1976-80年生まれは下位であるが、1971-75年生まれ、1981-85年生まれ及び1986-90年生まれは中位である。
2. 女性既婚率は、1966-70年生まれ、1976-80年生まれ、1986-90年生まれは中位であるが、1971-75年生まれと1981-85年生まれは上位である。
3. 女性定住率は、1966-70年生まれから1976-80年生まれまでは上位であるが、1981-85年生まれ・1986-90年生まれは最上位である。
4. 女性結婚年齢は1966-70年生まれ、1971-75年生まれ、1986-90年生まれは下位であるが、1976-80年生まれと1981-85年生まれは中位である。

### 【総合評価】

1. 長岡市では、定住率がどのコホートも最上位か上位であり、若年女性人口が0-4歳時点の水準で比較的維持されている。合計出生率は全コホートで県内の中位以下にある。新潟市同様に県の中心都市で若年女性人口を惹きつけているにもかかわらず、低い出生率が続いていることが、県内全体の人口減少、出生数の減少を招く要因となっている。
2. 1980年代後半生まれは、25-29歳までの合計出生率がそれ以前のコホートよりもさらに低下しているが、これはこの世代の既婚率の低下と女性就業率の上昇と関係している可能性がある。
3. 新潟市と同様に、相対的に多くの若年女性を抱える長岡市には女性就業と結婚、出産・子育ての両立について、先駆的な取組みが求められる。

## ②コホート合計出生率

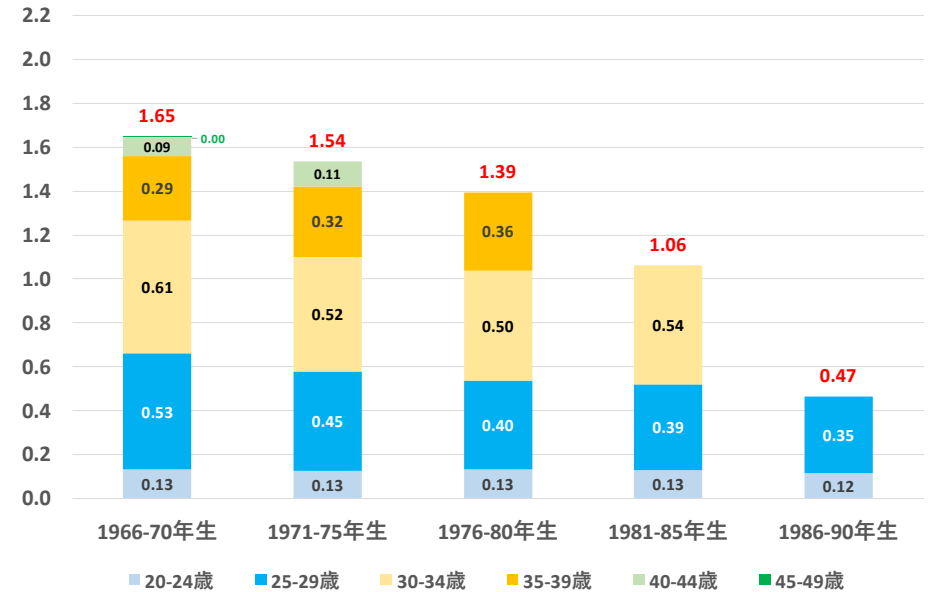
図 2-2 コホート合計出生率の推移



注：新潟県「福祉保健年報」より作成。

- ・ 図 2-2 は、長岡市のコホート合計出生率の推移を示している。
- ・ 県内他市町村と同様に、25-29 歳以降で、1966-70 年生まれと 1971-75 年生まれ以降の間に合計出生率の大幅な低下がみられる。しかし、1971-75 年生まれ以降のコホートでは（低下傾向にあるものの）コホート間の差は小さい。ただし、1986-90 年生まれは 25-29 歳時点で、それ以前のコホートよりも出生数が低下しており、0.5 人が生まれていない。

図 2-3 コホート合計出生率の年齢区分別内訳

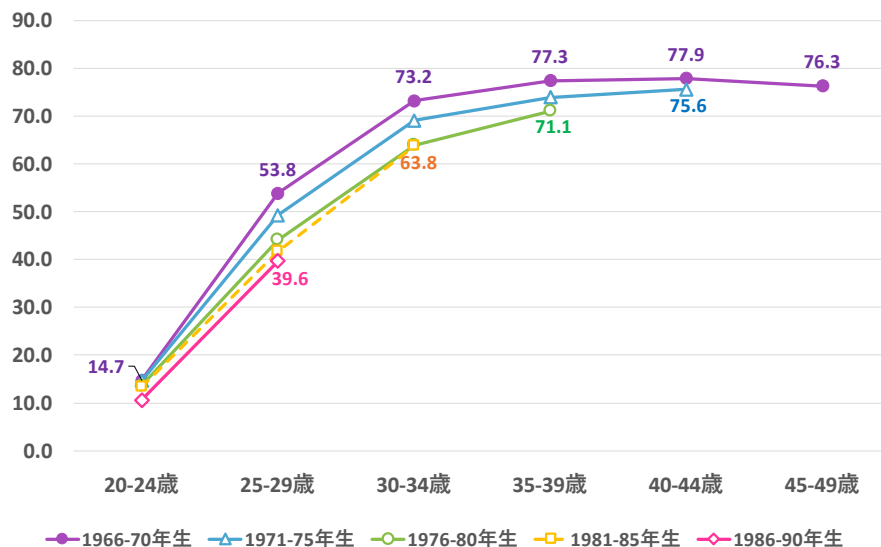


注：新潟県「福祉保健年報」より作成。四捨五入のため内訳の計と合計が一致しない場合がある。

- ・ 図 2-3 は、コホート合計出生率の年齢区分別内訳を示している。
- ・ 20 歳代の出生数は、1966-70 年生まれコホートの 0.66 人に対して、1986-90 年生まれは 0.47 人に減少している。30 歳代では 1966-70 年生まれの 0.89 人に対して、1976-80 年生まれは 0.86 人にわずかに減少している。
- ・ 晩婚化のため 20 歳代の出生率が低下しているが、30 歳代でも 1 人が生まれておらず、低下傾向が続いている。
- ・ 子どもが産まれる確率が最も高い 25-34 歳の出生数は、1971-75 年生まれから 1 人を下回っており、1981-85 年生まれは 0.93 人に減少している。

### ③コホート別既婚率

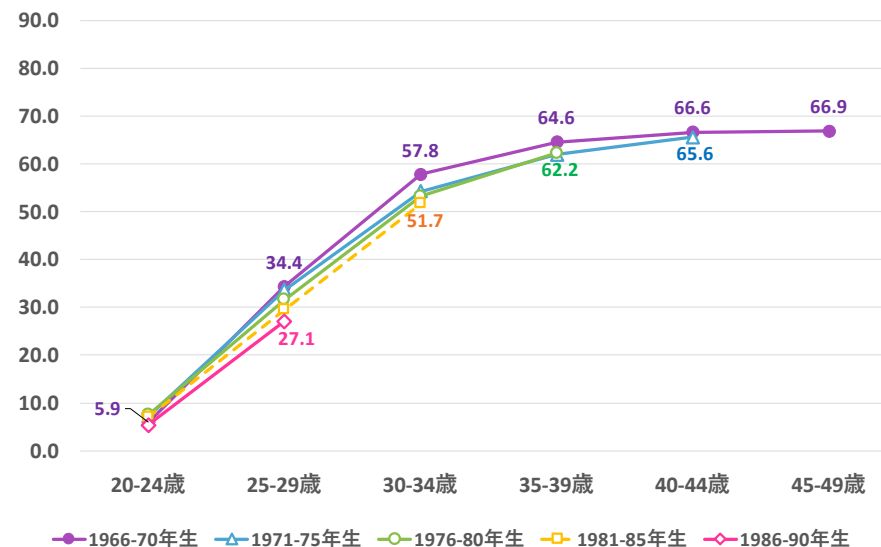
図 2-4 コホート別既婚率の推移(女性) 単位：%



注：「国勢調査」より作成。

- ・ 図 2-4 は、コホート別の到達年齢までの女性既婚率の推移を示している。
- ・ 25-29 歳以降で、1966-70 年生まれと 1971-75 年生まれ以降の間に既婚率の大幅な低下がみられる。さらに、1971-75 年生まれとそれ以降のコホート間でも、25-29 歳と 30-34 歳時点の低下がみられる。
- ・ 25-29 歳の既婚率は、1966-70 年生まれの 53.8%から 1986-90 年生まれは 39.6%へと 14.2 ポイント低下し、35-39 歳の既婚率は 1966-70 年生まれの 77.3%から 1976-80 年生まれは 71.1%に 6.2 ポイント低下している。

図 2-5 コホート別既婚率の推移(男性) 単位：%

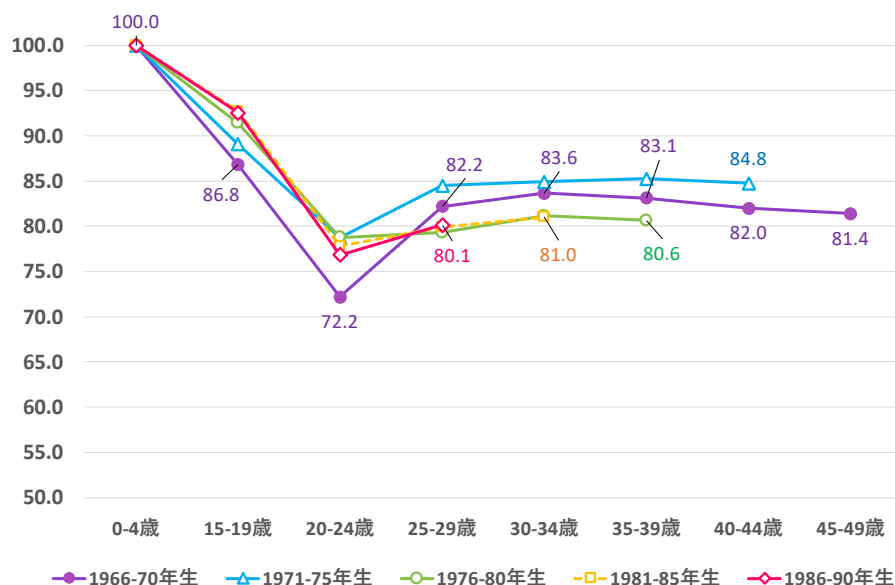


注：「国勢調査」より作成。

- ・ 図 2-5 はコホート別の到達年齢までの男性既婚率の推移を示している。
- ・ 男性既婚率も女性同様に最近のコホートほど低下する傾向が確認できるものの、女性既婚率と比較して、コホート間の差が小さい。
- ・ 25-29 歳の既婚率は、1966-70 年生まれの 34.4%から 1986-90 年生まれは 27.1%へと 7.3 ポイント低下し、35-39 歳の既婚率は 1966-70 年生まれの 64.6%から、1976-80 年生まれは 62.2%へと 2.4 ポイント低下している。
- ・ 女性既婚率は 40 歳代で 70%台半ばに達するが、男性は 60%台半ばに止まり、男性既婚率のほうが低い傾向がある。

#### ④コホート別女性定住(残存)率

図 2-6 コホート別女性定住率 単位：人口指数

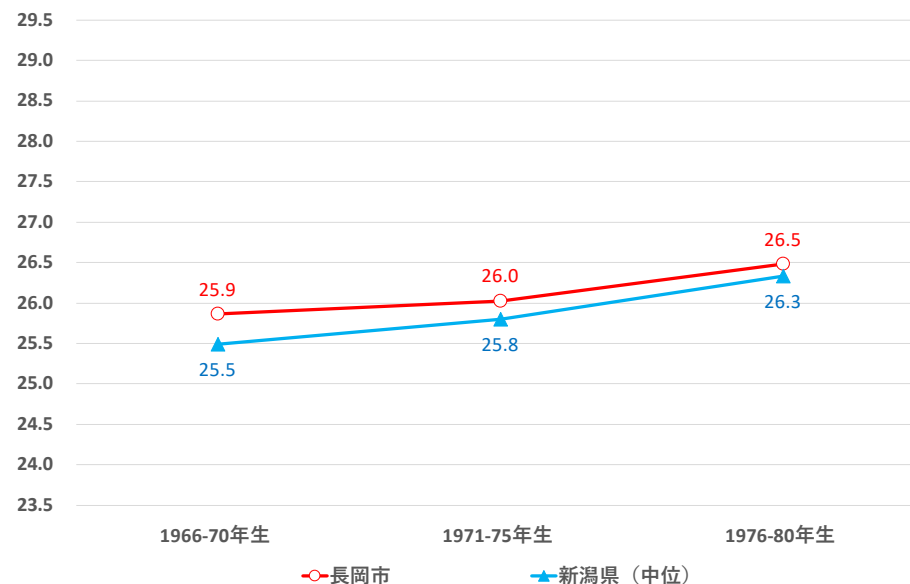


注：0-4歳人口=100。「国勢調査」より作成。

- ・ 図 2-6 はコホート別の到達年齢までの定住率の推移を示している。
- ・ 25-29歳における女性定住率は、1966-70年生まれの82.2から1986-90年生まれは80.1に2.1ポイント減少しており、35-39歳における女性定住率は、1966-70年生まれの83.1から1976-80年生まれは80.6に2.5ポイント減少している。
- ・ 長岡市では、25-29歳時でみると、1971-75年生まれ以前よりも、1976-80年生まれ以降で定住率が低下し、0-4歳時点の80%程度になった。

#### ⑤コホート別女性平均結婚年齢

図 2-7 女性平均結婚年齢 単位：歳

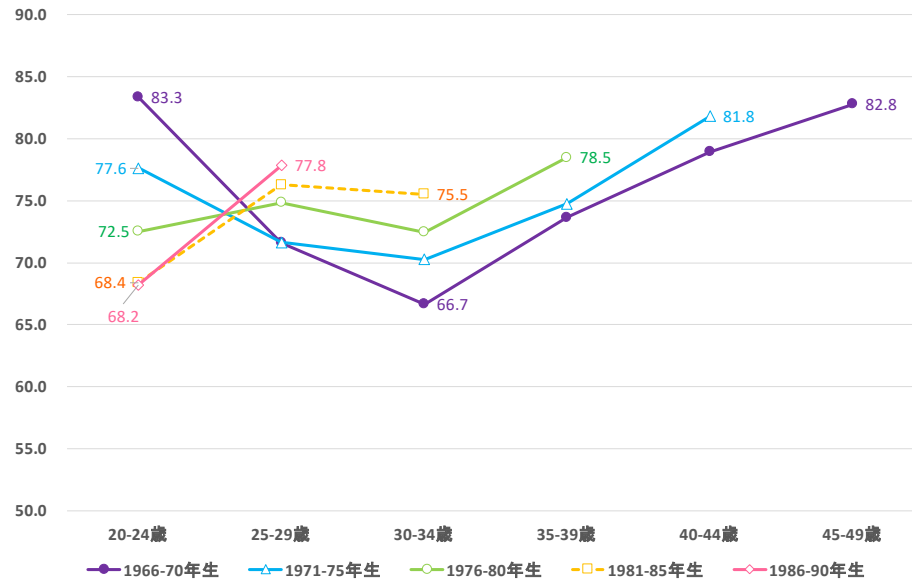


注：「国勢調査」より作成。

- ・ 図 2-7 はコホート別の35-39歳までの女性平均結婚年齢を示している。
- ・ 1966-70年生まれ、1971-75年生まれ、1976-80年生まれの35-39歳までの女性平均結婚年齢は、それぞれ25.9歳、26.0歳、26.5歳である。1966-70年生まれと比べて、1976-80年生まれは0.6歳だけ平均結婚年齢が遅れている。
- ・ 1966-70年生まれの県内順位は25位、1971-75年生の県内順位は22位と県内自治体と比較すると遅かったが、1976-80年生は18位と県内平均(中位)程度となった。

## ⑥コホート別女性就業率

図 2-8 コホート別女性就業率 単位：%

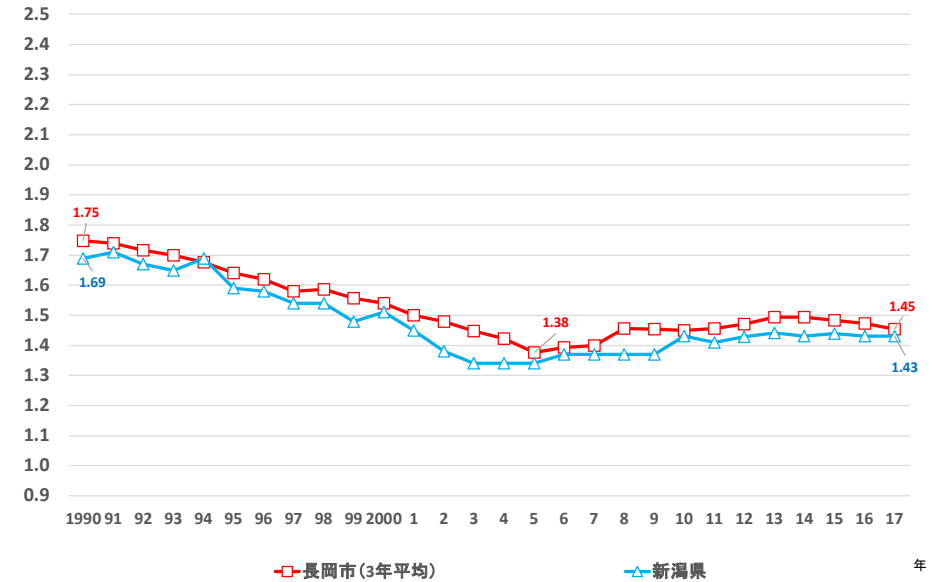


注：「国勢調査」より作成。

- ・ 図 2-8 はコホート別の女性就業率の推移を示している。
- ・ 20-24 歳から 25-29 歳までの女性就業率の変化を見ると、1966-70 年生まれと 1971-75 年生まれのコホートは低下しているのに対し、それ以外のコホートでは上昇している。
- ・ 30-34 歳の女性就業率を見ると 1966-70 年生まれは 66.7%であったのに対して、1981-85 年生まれは 75.5%に上昇している。
- ・ 1970 年代生まれまでは M 字カーブが確認されたが、1981-85 年生まれコホートでは 30-34 歳時点で M 字の底が確認されない。

## ⑦期間合計特殊出生率

図 2-9 期間合計特殊出生率の推移



注：市町村の出生率は 3 年間の移動平均値である。新潟県「福祉保健年報」より作成。

- ・ 図 2-9 は、1990 年から 2017 年までの新潟県平均と長岡市（3 年平均）の期間合計特殊出生率の推移を示している。
- ・ 1990 年以降で見ると、長岡市の期間合計特殊出生率は 1994 年を除き、新潟県平均よりやや高く、期間平均では 0.05 ポイント高い。
- ・ 長岡市の期間合計特殊出生率は、1990 年の 1.75 から低下してきたが、2005 年の 1.38 を底に 2017 年には 1.45 までわずかに改善している。